令和２年3月2１日

関係者各位

日本空手協会 小田原支部 芳空塾 代表 高橋資芳

**新型コロナウィルス感染対策を講じて道場の活動を再開します**

国や自治体、公共施設管理者などの新型コロナウィルス感染拡大防止の要請を受け、世情や業界の動向を鑑みて、活動の自粛をして参りましたが、国内の感染状況は「まだ警戒を緩められない状況が続き」、感染防止拡大措置も「現時点では継続が必要」であり、「その効果はあるが、引き続き万全を期して欲しい」との見解のようです。集団感染は**「屋内の閉鎖空間に集団が密集して活動を続ける（濃厚接触）からクラスターが発生する」**と言われており、その対策を講じて稽古の再開をします。ポイントは先ず３つあります。屋内では、密閉状態は不衛生となり易く、①**出入口や窓を開け、換気を心掛ける**べきです。屋外ならば、開放状態なので、エアロゾル（感染者がウイルスを含んだ微粒子）を排出しても、他者に届く前に多くのウイルスは乾燥して感染性を失います。屋内の密室に多人数が集まると湿度が高くなり、感染者の呼気に含まれるエアロゾル内のウイルスは感染性を保持し、数分～30分、空中に浮遊し続けます。人数が多く密集すると、人と人との距離も近くなり、感染し易くなります。密室に密集したインフルエンザの集団感染例として、空調が3時間停止した飛行機内で、1名の患者から37名が感染したようです。②**人数を減らし、２ｍ以上の間隔を確保する**ことも重要です。密室に密集し続けると感染性は高まるので、感染リスクの回避は、出来るだけ人と関わる③**時間を短縮する**ことです。「開放的な空間にて、少人数で、短時間の活動する」ことが感染抑止のポイントです。さらに、**手洗いと消毒**を習慣にして、必要に応じて**マスク着用**し、体調管理を心掛け、**不調なら自宅で休養**し、**症状消失後も一定期間は他者との接触を避ける**ことも大切です。みんなで力を合わせて、爆発的感染拡大＝医療崩壊を防ぎ、病弱者・高齢者の命を守りましょう‼

１．場所…**小田原市曽我光海19-11小室先生の自宅付近**・小室先生の伯父様の所有地。雨天や悪天候では中止。稽古を特別にお許し頂いたので、無礼だと稽古を中止します。

２．日時…**3/22(日)①10:00～11:00白・黄・緑・紫帯/②11:00～12:00茶・黒帯**

※該当者以外は参加できません（近隣・車内待機）。事前にトイレを済ませて下さい。

３．服装…**①学校等の運動着、②上着、③運動靴、④拳サポーター、⑤ボディプロテクター、~~⑥マウスピース~~、⑦マスク(感染防止用※市販品ではなく自作でよい)、⑧消毒液(感染防止用※各自で用意)、⑨汗拭きタオル、⑩着替え、⑪飲料等、⑫健康保険証**